

別記様式

特定プログラム説明書

開設研究科等名 [AI・データイノベーション教育研究センター]

プログラムの名称	(和文)	AI0psエンジニア育成特定プログラム
	(英文)	AI0ps engineer training program
1. プログラムの目的 (概要等)		
<p>近年、AIを活用したシステム運用 (AI0ps) が様々な場面で行われてきている。これらの技術を深く理解し、将来起こり得る課題の解決に向けて発展的な技術開発を行うための基礎力ならびに応用力を身につけることを目的とする。解決すべき課題は多様な専門分野で起こり、その専門分野に従事する者自身が情報技術を活用して解決することが要求される。本プログラムで修得する情報技術と受講者自身の専門知識が融合することにより、多様な分野で将来起こり得る課題を解決するための基礎力・実践力を身につけることができる。</p>		
2. 登録時期		
<p>博士課程前期の聴講期間 (第1ターム) 終了時まで登録受付を行い、前期 (第2ターム) から履修開始を原則とするが、博士課程前期・後期を問わずプログラム登録ができる。なお、登録前に修得した授業科目の単位を本特定プログラムの修了要件単位に算入することができる。</p>		
3. 登録要件		
<p>学部において数理・データサイエンス・AIの応用基礎レベル「AI・データサイエンス応用基礎特定プログラム」を修了していること。</p> <p>※本学の情報科学部を卒業して大学院へ進学した学生については、応用基礎レベルの学修により登録要件を満たしているものとして取り扱う。</p>		
4. 受入上限数		
20名		
5. 授業科目及び授業内容		
<p>※授業科目は、別紙の履修表を参照すること。</p> <p>※授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。</p> <p>※本特定プログラムの授業科目は博士課程前期で開講される。博士課程後期の学生が本特定プログラムに登録して修得した単位は、課程の修了に必要な単位としては認められないので注意すること。</p>		
6. 修了要件		
<p>別紙の履修表に従い、必修・選択必修から合計10単位を修得すること。</p>		
7. 実施体制		
<p>AI・データイノベーション教育研究センターの「データサイエンス教育強化WG」を中心にプログラム担当教員会を構成し、プログラムの企画・改善に関する検討を行う。</p> <p>全体責任者：土肥 正 (AI・データイノベーション教育研究センター長)</p>		

AIOps エンジニア育成特定プログラム 履修表

授業科目	単位数	開講期	履修区分	要修得単位数	開設部局
大学院共通科目 (※1)					
情報科学概論 I	1	前期(2T)	必修	2	大学院共通科目 (博士課程前期)
情報科学概論 II	1	後期(4T)			
情報科学プログラム専門科目 (※2)					
Artificial and Natural Intelligence	2	後期(4T)	選択必修	4	先進理工系科学研究科 (博士課程前期)
ソフトウェア工学特論	2	前期(2T)			
機械学習特論 2026 年度以降廃止	2	後期(4T)			
Mobile Computing	2	前期(1T)			
自然言語処理特論	2	後期(3T)			
情報検索概論	2	前期(2T)			
Practical Machine Learning	2	後期(4T)			
Formal Engineering Methods for Software Development 2026 年度以降廃止	2	後期(4T)			
Control of multi-agent systems	2	後期(3T)			
Cryptography	2	後期(4T)			
AIOps 演習 A (AI 系)	1	前期(集中)	選択必修	2	
AIOps 演習 B (システム開発系)	1	前期(集中)			
AIOps 演習 C (自動運転系)	1	前期(集中)			
AIOps 演習 D (制御系)	1	前期(集中)			
企業インターンシップ (※3)	2	前期(集中)	必修	2	

(※1) 本特定プログラムの登録を希望する博士課程前期の学生は、課程の修了に必要な大学院共通科目（キャリア開発・データリテラシー科目）として「情報科学概論 I」・「情報科学概論 II」を選択してください。

(※2) 「AIOps 演習 A (AI 系)」, 「AIOps 演習 B (システム開発系)」, 「AIOps 演習 C (自動運転系)」, 「AIOps 演習 D (制御系)」, 「企業インターンシップ」は、本特定プログラムに登録している学生のみ履修が可能です。

(※3) 「企業インターンシップ」は、実習先企業の都合等により履修制限を設けることがあります。